

令和5年度第9回藤沢市市民活動推進委員会 議事録

1 日時

2024年（令和6年）2月19日（月）午後6時～午後7時41分

2 場所

ウェブ開催

3 出席者

(1) 委員 11人

山岡委員長、坂井副委員長、大場委員、関野委員、新實委員、西上委員、西村委員、樋口委員、藤田委員、細沼委員、森田委員

(2) 事務局 4人

市民自治推進課

日原参事、森主幹、緒方専任主査、黒川職員

4 議題

(1) 協働コースの審査結果について

(2) 市民活動団体の活動状況調査の実施結果（概要）について

(3) 令和6年度に向けた取組について

・令和5年度の取組結果について

・令和6年度の取組（案）について

(4) 令和6年度藤沢市市民活動支援施設の事業計画書（案）について

(5) その他

5 開催概要

○会に先立ち、事務局より新委員が紹介された。

開会

(山岡委員長) それでは、ただいまから、令和5年度第9回藤沢市市民活動推進委員会を開会いたします。

初めに、委員会の成立状況のほか、傍聴者の状況などについて、事務局よりお願いいたします。

○事務局より、委員会成立の報告が行われた。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題（１）協働コースの審査結果について

○事務局より、協働コースの審査結果について説明が行われた。

（山岡委員長）今の説明について、何かご意見、ご質問、いかがでしょうか。これは協働部会の方は既にご存じのことですが、そちらに出ておられない方は、何か気になることがあるかもしれません。もちろん部会の方でも構いませんが、もし何か確認などございましたら、いかがでしょうか。

4件の申請があつて、最終的に1件になったわけですが、これは審査をした結果ではなくて、取り下げということなので、申請のあつた1件がそのまま採択になったということですね。よろしいですかね。確認ということかと思ひます。

特になければ、議題（1）については以上で終わりにしたいと思います。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題（２）市民活動団体の活動状況調査の実施結果（概要）について

○市民活動推進センター センター長 関野委員より、市民活動団体の活動状況調査の実施結果（概要）について説明が行われた。

（山岡委員長）丁寧な調査をしていただいていると思ひます。

ただいまの調査結果の報告について、ご意見やご質問等いかがでしょうか。

（森田委員）ご報告ありがとうございました。

回答率が100件も減ってしまったというのはとても大きいなと思ひています。前年度のコロナが特殊だったというのもあると思ひますが、せっかく増えた回答率が、なぜこんなに減ってしまったのかという要因についてはどんなふうにお考えでしょうか。1つは、小さい団体に余裕がなくなつてというところもあると思ひますが、何か思い当たるところとか、予想されるものがあれば教えていただけますか。

(関野委員) 一番は、根本的に登録団体自体も 2020 年、2021 年、2022 年と比較して、減り幅が最も多かったのが今年度なので、うちの視界から見える内容としては、やはり団体さん自体が、コロナの間は活発には活動できない前提だけれども続ける意向があったのが、いざ5類へ移行したときに、では再開できたかという面が相応に強いかなと感じています。

実際、最近、新規登録、新規団体設立が少し増えているのは、ちょっと明るい話ではありますが、それと同時に解散とか、代がわりをどうしたらいいとか、そういう団体の整理をするような動きが、ご相談としても多くなっております。

ただ、全体的なところを申し上げますと、減少傾向自体は、ほかにご利用できる会議室、先ほど見たように既にご利用している内容は印刷室と会議室が強い。ここ 10 年ぐらいの環境の変化でいうと、Fプレイスができたのでそちらへ行きますというのもありますし、市役所の会議室が使えるようになったのでそちらへ行きますというのも当然あります。単純に、ここ自体は同じ場所でずっとやっていますので、新しい会議室にという団体さんも相応に多いです。特に市内NPO法人さんは送る対象としてはそう変わらないのですが、任意団体さんでそういう動きをしたところが減っているだろうなというのはございます。

(森田委員) そうすると、コロナ禍で新たにSNSベースの活動団体が使用団体として増えたという理解はあまりないということですね。

(関野委員) 結局、ここ自体が自立支援の施設なので、もしSNSがベースの団体さんがいらっしゃるとすると、恐らくご利用される内容は、先ほどの調査の利用している内容のうちの情報発信にかなり偏るかなと思っています。どちらかというところ、もともとのつくり込みとして、印刷機があつて、ロッカーがあつて、会議室があつて、フリースペースがあつてというところなので、基本的にはこの利用に関しては、現場で活動する団体さん向けのつくり込みなのです。

ただ、ご相談とか、うちのほうの講座ではそこら辺の拡大は考えてやってはいますが、講座を受けたから登録しようということになるかというところ、そうでもない。結局、最終的にこの場を使うということにしか登録の意識が向いていないかなというところなので、三つ折り（パンフレット）の改定をしたときとか、割と情報発信部分を強調したりしていますが、うちのほうではそこら辺をちゃんと強調してという動きをここ数年やっている最中です。

(森田委員) 解説のほうも併記はしていただいていると思いますが、これだけ減ってしまうと、その理由も、一概に数だけでは判断できない、どちらかという後ろのほうに書かれている推察のほうに近いのかなという印象を受けましたので、外にお出しになるときにはちょっと注意が必要かなというのが1点です。

それから、今もおっしゃっているように、市民団体自体の活動の内容がすごく多様化していることも事実だと思います。その辺を、市の市民活動の全体を把握するという意味において、今後の調査の中でもできるだけ把握できるようになったらいいのかなとは思ったところです。

例えば、先ほどの資金調達の部分、助成金の申請の有無で、調査の質問項目を読んでいるのでわからないのですが、例えば最近はクラウドファンディングであったり、**READYFOR**などで自己資金を違う形で調達しているという場合もあったりすると思います。そういうものも把握できるような形にされたりすると、単に活動がしぼんでいっているのではなくて、別のところで資金を得ているとか、そういった動きがわかっただけがいいのかなと思いました。

(山岡委員長) このデータだけから読み取るのは結構難しいところがあるなと思います。今の議論の中で少し気になったのは、もしこの施設を利用している団体が回答しているならば、例えば年齢構成が70代以上が最大ボリュームになっているわけです。そういう年齢層で構成されている団体さんにとって利用しやすい施設にはなっているけれども、そうではない団体にとっては、もしかしたら遠い支援施設になっている可能性はあるかもしれません。ただ、もちろんこれだけではわからないと思いますが。

関連して、1つ私からよろしいですか。調査の方法で、郵送とインターネットが併記されていますが、これは両方で調査をしたということなのか、あるいは団体によって、郵送で調査したところとインターネットで調査したところがあるということでしょうか。

(関野委員) 対象団体はもう定まっておりますので、郵送は全ての団体にしております。調査票の一番最初のページに二次元コードも入れて、インターネット上からも回答できるようにしました。実際に重複して回答されたところに関しては、お答えは1つにして集計しております。

(山岡委員長) わかりました。

何かご質問、確認、ほかにいかがでしょうか。

(坂井副委員長) 大変興味深い調査結果だなと思って拝見しました。1点だけ、スタッフ

の中心的な年齢というところでは、70代以上が非常に増えているというところに注目するのですが、これを見ると、要するにスタッフが高齢化してきて、活動が徐々に行き詰まりつつあるのではないかと見えます。別の見方をすると、これだけ高齢の方がすごく現役で活躍しているんだなというふうにも見えるわけです。

そこで、今、70代以上は全部一からげになっているけれども、もう人生100歳時代とも言っていますから、「70代」「80代以上」とか、この上をつくってもいいのではないかと。いないかもしれないけれども、「90代以上」があってもいいかもしれない。要するに、まだまだ現役で先があるぞと調査票を受け取った人が思える。70代で、もう行きどまりになってしまったんだと思うのとは、ちょっと感覚が違うのかなと。その先はどうなっているのと、興味があると思うのです。80代でも頑張っている人も結構いるのではないかと気がするので、今回はこれでいいけれども、次年度以降ももしこういふ調査をされるならば、その辺を念頭に置いてはどうかと思いました。

(山岡委員長) 関野委員、もしあれば。

(関野委員) おっしゃるとおりだと思います。ここまで傾向が偏ってしまうと、その部分でも分けないと、なかなか実態がわからないかなというところになってまいります。

2年後になるか、次の調査の属性のときにこの項目が入るかわかりませんが、うちの施設の利用対象の場合は、ここは分けたほうがいいだろうと考えます。

(山岡委員長) ほか、いかがでしょうか。——よろしいですか。

もし何かお気づきのことがあれば、調査結果なので、気になるところがあれば聞いていただければと思います。ありがとうございました。

それでは、以上で議題(2)を終わりにしたいと思います。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題(3) 令和6年度に向けた取組について

○事務局及び市民活動推進センター センター長 関野委員より、令和6年度に向けた取組について説明が行われた。

(山岡委員長) 今の説明についてご質問やご意見いかがでしょうか。非常にいろいろな事業が幅広くたくさんあるのですが、もしお気づきのことや確認したいことなどがあればご発言ください。

(細沼委員) 説明ありがとうございます。全体的にですが、実際に地域で活動している側としましたら、あまり実態がよくわかっていらっしやらないかなというのが第一印象です。

市民自治推進課もそうなんですが、令和6年度の取り組みを見ますと、そもそもこれは市民自治推進課と活動支援施設の業務だと思います。実際に地域側から見ると、これは業務であって、もう少し実態をわかっていただかないと、ただワークショップを開くとか、地域で意見交換会をするというレベルでは、もう地域の活動の解決はできないと感じていますし、全体的に全地区を実際に回っていただいて、本当に生の声を聞いていただきたいと感じました。

ちょっと厳しい意見になってしまうかもしれないんですけども、講演会とか、自治町内会長のつどいとかもそうですが、会場で聞くだけ聞いて、その後、各自治会でどうされているのかなというのはやはり調査も必要だと思います。イベントをやるだけでは課題解決にはならないと思っています。

今は各地区とも自治会・町内会の活動を皆さんとても負担に感じている部分がたくさんあります。ただ、元旦からの能登半島地震で、防災に関しては皆さんすごく関心があり、ここだけはやっておかないといけないかなと。自治会・町内会で顔を見合わせながら、そういう活動をやっていかなければいけないと感じている自治会が大変多いので、そこをどういうふうに支援してあげたらいいかを考えていってほしいと思います。

実際に私も地区の自治連の会長ですので、49の自治会・町内会の声を極力聞くようにはしていますけれども、やはり49通りの課題があって、そこを市民自治推進課の方にももう少し踏み込んで来ていただければいいなと感じています。

以上です。

(山岡委員長) 今のご意見に対して、事務局のほうでもし何かあれば、どうでしょうか。

(事務局) 今ご意見いただきましたように、こちらの本来業務としてやるべきこととおっしゃられましたのはそのとおりです。

これまで自治会・町内会の方々とお話しする機会はもちろんこちらでもあったんですが、今回この資料にも載せさせていただいたように、自治会・町内会の方のご負担、特に役員の方のご負担が非常に多くなっていて、そこで疲弊してしまっているというお声をいただいています。庁内でもそういう疲弊してしまっているといった認識はもちろん持っていたんですけども、ただ、そこを庁内で連携的に、もう少し具体的に連携でき

る情報交換の場とか、それに対して何ができるのかを考える場というのが、これまで実はできていなかったというのがあります。非常に遅ればせながらというところなのかもしれないんですけども、市民自治推進課としても自治会・町内会への支援策を考えていく上で、今年度はその新たな一步を踏み出したところであるにご理解いただければと思います。

先ほどご説明もいたしました、まだ遠藤地区にとどまっているところではあるんですけども、自治会・町内会の関係の方に実際お話を伺いに行くことも始まっておりますので、また今後もこういった自治会・町内会の負担軽減に関しては、現場の方のニーズを伺う機会を設けながら取り組んでいかなければならないと考えております。

あと、ミライカナエル活動サポート事業でも、電子回覧板の支援事業がございます。そういった場でも恐らくいろいろ自治会・町内会の方のお話を伺う機会もありますので、今後の負担軽減策といったところで、市民自治推進課として何ができるか考えていける年になるのではないかと考えております。

ご意見いただきましてありがとうございました。

(山岡委員長) 私も藤沢の自治会・町内会の状況は十分にわかってないわけですけども、今、細沼委員からご意見がありまして、細沼委員がこのメンバーの中におられるわけで、しかも自治会・町内会のほうのお立場もあるので、次の年度では、もしかしたら、すぐには難しいかもしれませんが、意見交換というか、お互いに状況を聞きながら、こんなことがあれば現場としてはすごくありがたいみたいなこともあるかもしれないので、そういう声を聞きながら、ぜひ事業計画をつくっていただきたいと思います。

量が多いのですが、細かいところでもいいと思います。今、細沼委員からご質問があったように、現場でこの事業にかかわっておられる皆さんもおられると思いますので、そのお立場からも気がついたことなどおっしゃっていただければと思います。

(関野委員) 細沼委員ありがとうございました。こちらの施設は、作り込み的に言うと、自治会・町内会の支援をするというものになっていないわけではないのですが、開設時より自治会・町内会から結構ご希望があつて、印刷等は使えるようになっていたりして、もともとかわりは結構あるはあるんです。

結構前に実施したイベント自体は、ステークホルダーはどういう人かというのと、その公民館にとっての地域担当だけではなくて、それこそ自治会・町内会の方も呼んでという形でやっていました。どちらかというと、私ども自身も、自治会・町内会の支援にさ

われればいいんですけれどもというところでやっていて、かつ、今、仕様書の中で、「地域課題の解決に直接的に役立つような」といった記述が割と入ったということで、そこに手をつけられればいいなという状態になっています。

逆にお伺いしたいのが、私どものこういう立場で、細沼委員から見て、どういうところに一番先にお話を伺いに行ったらいいかみたいなことはございますかね。

(細沼委員) 前もちょっと言ったと思うんですけれども、コロナ禍でも自治会・町内会は動いていたわけですから、印刷のことに関しては、大庭ですと、多分プラザむつあい（市民活動プラザむつあい）が一番近くて皆さん行かれていたみたいです。ただ、移動手段が車になってしまっていて、車を出せる人がむつあいさんに行っていたんですけれども、やはりそれが皆さんのにはかなり負担だったようです。

結局そのことがあって、市民センターにもご相談したり、自治連にも相談があって、湘南大庭に関しては、市民センターで印刷を無料でできるようにしています。やはりそういう皆さんの利便性もあると思うんです。御所見地区とかもそうかもしれませんが、湘南大庭の人も、公共機関を利用して1本で行けないところは、市民センターもそうですし、プラザむつあいもそうですが、まずそこに行くまでがすごく大変です。地域の中でできるんだったら、皆さん極力地域の中でやりたいというのが多分生の声だと思います。なので、移動手段がかかってもそちらに出向いていくには、例えば魅力あるものがないと、皆さんの足が遠のいてしまうのかなと、個人的には思っているところです。

(関野委員) どちらかという、うちのほうで今考えているのは、こちらから出て行くことなんです。先ほどの質問が言葉足らずだったんですけれども、どこの組織というか、どこのくくりの話し合いにお願いして、そこのお話を伺うとか、そういう会議とかで適切なおところはあったりしますか。

(細沼委員) うちの地区でいえば、年に数回、49の自治会・町内会長さんを集めて、応援講座とか意見交換会をやっているんで、例えばそういうところに来ていただく。あとは、4小学校区に分かれて意見交換会をする機会があるので、そういうところに来ていただくのが1つつながる手段かなとは思いますが。それは市民センターの事務局に言っていただければ日程も大体決まっていますので、そういうところに来ていただけるといい。あとは定期的に役員会とかもやっています、そこには8自治会・町内会の会長が入っているので、そういうところでも意見が聞けるのかなと思います。

(関野委員) 年度の計画がこの後の議題ですので、その修正の中でそういった部分を入

れて、2024年度のどこかでできるところがあればやりたいと思います。

(細沼委員) 市民自治推進課の方には、応援講座ですとか、毎回来ていただいています、そこでもやはり直接意見が出ます。フィードバックできるように、欠席された方にも全部結果を出しています。湘南大庭地区に関しては自治会・町内会長の意見をまとめて、それを次の引き継ぎの方にもフィードバックできるようにはしています。いろいろな方に来ていただいて、解決策というか、いろいろな話を聞くことで、そこからまた何か生まれることもあるかなと思っているので、ぜひ来年度、来ていただければいいかなと思います。

(関野委員) 検討させていただきます。

(山岡委員長) よろしいですかね。まだいろいろご意見もあるかと思うのですが、今、時間がかかり押しております。議題がもう一つありまして、予定では20分ぐらいかかる感じです。急いで進めたとしても、あと4分では終わりそうにないのですが、一旦ここで議題(3)を終わりにしていいですか。

終わりにするに当たり、これに関しては、また後でご意見とかがあれば、メールで事務局にお寄せいただくという形で対応させていただいてよろしいですか。

(事務局) 結構でございます。

(山岡委員長) では、そういう形で、もしご意見やご質問があれば、事務局にお寄せいただくということでお願いします。

議題(3)を一旦終了いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題(4) 令和6年度藤沢市市民活動支援施設の事業計画書(案)について

○市民活動推進センター センター長 関野委員より、令和6年度藤沢市市民活動支援施設の事業計画書(案)について説明が行われた。

(山岡委員長) せかしてしまって申しわけないです。私もざっとしか見てないです。

取り組み目標のところはいいとして、あと、業務のところ、2024年度に何か大きく変更・追加みたいところはありますか。

(関野委員) どちらかというと、2023年度が指定管理初年度で、試験的にやっている部分でいいかと、社協さんと地域課題の対応をする団体等との連携みたいな項目が2カ

所ぐらいにあります。そちらに関しては、12月の段階ではあまりというか、3月に何をするか具体的に決まっていない状態でこの計画書を提出しているという形です。

先ほど細沼委員に地域に出ていってというようなご質問をさせていただいたのも、その枠に関して、実際に場に出てということも検討したほうがいいかなというところで今動いているからです。今年度は社協さんとの連携をやっている、各部署とか別のところでも一緒にお話を聞きに行きたいみたいなことも話していますので、今年度はヒアリングという形でしたけれども、そういったところでちょっと踏み込んだ動きができればと考えております。

(山岡委員長) もしこの場で何か確認したいことがありましたらいかがでしょうか。

これは、ここで意見が出たり、あるいは後でメールで意見を受けて、追加や修正したりする可能性があるということですよね。

(関野委員) 市の承認を受けたものですが、この委員会でご意見が出てきたら、こちらとしては受けとめて修正する予定です。

(山岡委員長) ちょっと議論はできませんけれども、先ほど細沼委員からのご意見もありましたし、これを見ていただいて、もっとこういうこともということがあれば、ぜひ遠慮なくおっしゃっていただいていた方がいいと思います。もちろん仕様書の中で、市民自治推進課とも相談の上でつくっているものですので、できることとできないことは当然あると思うのですが、言いたいことがあればおっしゃっていただけたらいいと思います。よろしいですか。

私が時間のことをばかり言ってしまって申しわけなかったです。もしそれで発言をためらわれている方がおられたとしたら、本当に申しわけないです。

そうしましたら、私ももう一回ちゃんと読みますけれども、こちら事務局に後日メールでも構わないということですので、ご意見をお寄せいただくことでよろしいですか。結構大事なところなので、はしるわけにはいきません。先ほどの議題(3)もそうですが、皆さんしっかり読んで、よろしく願いいたします。

そういうことでよろしければ、以上で議題(4)を終了したいと思います。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題(5) その他について

○事務局から、第9回市民活動推進委員会の議題への委員からの意見を踏まえ、資料の修正を事務局で行うこと、また、それに伴い、第10回市民活動推進委員会は開催しないこととする提案があり、了承された。

(事務局) 提案をご了承いただきまして、ありがとうございました。

第10回の委員会は開催しないこととなりましたので、第11期の委員の皆様は、本日が最後の委員会となります。そこで、最後となりますので、時間も押している中ではございますが、委員長、副委員長から一言ずつご挨拶いただければと思います。

初めに、坂井副委員長、お願いしてよろしいでしょうか。

(坂井副委員長) 2年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

いろいろと難しい議論もあったかなと思いますけれども、おかげさまで皆さんのいろいろな意見を聞かせていただいて、いい形でこの委員会が進んできたのではないかと思っております。そういう意味で、本当に感謝しております。来期、もしご一緒になることがありましたら、またぜひよろしくお願ひしたいということで、感謝を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

(事務局) 坂井副委員長、ありがとうございます。

山岡委員長、お願いいたします。

(山岡委員長) 私も坂井副委員長と同じで、皆さんが本当に活発にご発言をしてくださるので、私としてもすごく勉強になりましたし、主にミライカナエル活動サポート事業がウエートとしてはすごく大きかったんですけれども、そのことに関してもいい議論ができたのではないかと思っております。

ただ、他方で、今日のようになかなか皆さんにご発言いただけない。それこそ今日一言もご発言いただけていない委員の方もおられます。これは私の進行の不手際もありまして、その点は本当に申しわけないと思っております。

いずれにしても、2年間、この委員会を進めてこられたことは、本当に皆様のおかげで感謝しております。私も、もし来年度ということがありましたら、また引き続きぜひよろしくお願ひいたします。どうもありがとうございました。

(事務局) ありがとうございました。

最後に、事務局から市民自治推進課長の日原よりご挨拶をさせていただきます。

(日原市民自治推進課長) 皆さん、2年間本当にお疲れさまでございました。

この2年間は、本来のミライカナエル活動サポート事業の審査もそうですけれども、

市民活動推進計画の中間の見直しということで非常にご足労をかけたと思っております。この2年間で数えれば20回の開催予定ということで、私もいろいろな審議会を経験していますが、ここまでやっている会議体は本当に少ないですし、また皆さんが本当に活発に会議に参加していただいているところも非常にありがたく思っています。特に山岡委員長、坂井副委員長にいろいろな意味で進行をお願いしたり、また各部会も含めて部長の方にもいろいろとご協力いただきましてありがとうございます。

また新たなメンバーを含めて、4月以降もこの会議が皆様の協力によって無事進むことを祈念して、お礼にかえさせていただきたいと思います。2年間本当にありがとうございました。

(事務局) 事務局からは以上でございます。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

閉会

(山岡委員長) 本日の日程が全て終了となりました。

以上をもちまして令和5年度第9回藤沢市市民活動推進委員会を閉会いたします。今年度最後となります。皆様どうもお疲れさまでした。

午後7時41分 閉会